広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町町民室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話 ㊀0091番

完成間近い新庁舎

落成式は二月十八日

新春の陽光を浴び、雄大な姿をあらわした〝住民自治の殿堂〟新庁舎

多年の懸案であった〝住民自治の殿堂〟庁舎が装いも新らたに完成のはこびとなりました。

この庁舎建設工事は、本年度町の最も大きい事業として昨年の五月から熊谷組の手によって工事が進められてまいりましたが、完成も時間単位になり二月十八日には庁舎新築落成祝賀式が予定されています。

新春の陽光を浴びて中地階を含めて六階建の郡内随一の巨大な姿の建物となりました。

「住民サービスをモットーに誰にでも親しみのもてる役場」として冷暖房施設のほか、この近郊隣町ではめずらしい一階から四階まで自動式エレベーター（定員六人）が取り付けられました。これは事務能率のスピードアップのために設置されたものです。

庁舎建設費は、当初予算で七、二〇〇万円計上されていましたが、その後エレベーター工事費冷房施設など整備費に一、三四三万円補正され、総額八、五四三万円の巨額となりました。

建物の構造は中地階は倉庫、自転車置場、一階が大事務所、宿直室、二階事務所、町長室、教育委員会、三階が会議室、和室の会議室、書庫、四階は議場、議会専用室、議会事務局、録音室、塔屋などの規模を有しており、住民に愛され、親しまれる近代的で能率的な明るい庁舎となります。

また、新庁舎の各課、室の配置図、建物案内などについては次号で詳細にお知らせいたします。

現在の仮庁舎事務所（中央公民館）からの移転は、落成式後に行なわれます。

各家庭へ記念品を配布

新庁舎完成に伴い、町では二月十八日に落成祝賀式が挙行される予定ですが、この日には町内外の有志多数を迎え落成式を行なうとともに、町内全家庭には記念品と町政の概要を掲載した町勢要覧〝いかた〟を各部落区長さんを通じて配付されます。

火の用心

2月は、年間を通じ火災の多いシーズンです。火に親しむ機会も多く空気も非常に乾燥しやすい季節です火の元には、充分気をつけましょう少しの油断が大火を招きます。

（山林あとの開こんの際の火入れは、従前に役場町民室へ連絡してください。）

健康パトロールカー

〝ひまわり号〟が到着

みなさんの健康増進めざして

県より贈呈されたパトロールカー〝ひまわり号、より機動的に、より広範囲な健康相談・指導車として活用されます。

健康で明るく住みよい町づくりをめざす本町に、県より健康パトロールカー〝ひまわり号〟が贈呈されました。

この健康パトロールカーは、昭和四十四年三月設立された愛媛県社会福祉基金（五億円）の運用収益金による、保健医療施設整備充実事業で県下十四市町村に配備されたものです。

一月十四日県庁において「健康パトロールカー贈呈式」が行なわれ、県知事より力付）、酸素吸入器などの救急設備の機能を有しています。

今後は、この「ひまわり号」が町内のみなさんの健康アドバイスカーとして健康相談、指導など機動力を活用して、より積極的に活動を行ないます。また、急病患者を移送する救急車的働きも行ないます。

この健康パトロールカーの愛称は「ひまわり号」と名付けられ、定員五人、マイク、テープレコーダーなどの広報整備、寝台（タンキーと目録を保健婦に手渡され引きつづき保健婦の運転で松山市内をパレードし、健康増進運動を行ないます。

この健康パトロールカーの愛称募集が県主催で行なわれ、本町関係では、つぎの方々が入選、佳作に選ばれ県より記念品が贈られました。

◎入選「ひまわり」
井上華千香（豊之浦）
宮内　鈴子（伊方中学校）

○佳作「しあわせ」
山下　恵子（湊浦）
渡辺　勝枝（町見中学校）
林　一志（伊方中学校）
菊池　恵美（伊方中学校）

○佳作「太陽」
矢野　敏泰（伊方中学校）

内をくまなく廻れるよう八〇〇cc の普通自動車で一台五十四万円します。

この健康パトロールカーの愛称は「ひまわり号」と名付けられ、定員五人、マイク、テープレコーダーなどの広報整備、寝台（タンキーと目録を保健婦に手渡され引きつづき保健婦の運転で松山市内をパレードし、健康増進運動を行ないます。また、急病患者を移送する救急車的働きも行ないます。

農村に多い高血圧など潜在疾病者を早期発見治療をしようとするもので、町の昭和四十四年度事業のなかで、庁舎新築工事につぐ大きな事業である伊方港浮桟橋（伊方港局部改良事業）の入魂式が、昨年の年の瀬も押しせまった十二月二十七日に挙行されました。

この入魂式には、神主を迎え、町長、町議会議長、議員、伊方町漁協長、工事関係者など多数が出席して行なわれ、神事のあと、山本町長の手によって橋の入口に張られた紅白のテープにハサミが入れられ、渡りそめがあり、無事入魂式を終りました。

工事は五洋建設KK（本社東京都）が請負、三月上旬の完成をめざし、現在、作業が急ピッチで進められています。

伊方港浮桟橋の入魂式

＝完成は三月上旬＝

この浮桟橋新設工事は、一、二九〇万円の巨費を投入し、定期船の発着を便利にするため役場前に延長二十四メートル、幅七メートル、高さ二、六メートルの浮桟橋を設置します。

浮桟橋には、前後に二本づつの計四本のアンカー（いかり）が取り付けられ、台風などが到来しても、ビクとも動じないよう結合してあります。

また、この浮桟橋をつなぐ渡り橋は延長十六メートル、幅二、三メートルの鉄骨造りです。

浮桟橋を設置する位置は、水深七、四メートルもあり、二〇〇トン級（八幡丸）の船舶が発着できる定期船の発着が便利になったことと合わせよろこばしい限りです。

このことは、昨年の九町港物揚場完成による乗客の乗り降り、荷物の積みおろしが苦にならなくなります。

紅白のテープにハサミを入れる山本町長
＝入魂式現場＝

愛称募集で井上さんら入選

豊之浦保育所へ善意の贈り物

豊之浦保育所へつぎの方々からジャングルジム（遊具）など六点の善意の贈り物があり、園児たちによろこばれています。

ジャングルジム
渡辺　義宗（豊之浦）

テープレコーダー
竹内　宗夫（豊之浦）

電気冷蔵庫
渡辺　信夫（豊之浦）

ジャンプリング（遊具）
竹内　一夫（豊之浦）

ミシン
中田　条雄（豊之浦）

人形劇舞台
豊之浦婦人会

＝体力つくり＝

健康美つくりに体操

寒い季節になると、とかく運動不足になり勝ちです。

運動不足は健康をそこない老化を早めます。

室内や仕事の合い間に気軽にできて効果のある運動は体操です。

体操は、形式にこだわらず、時場所、からだの状態に適したもの を、少しづつ量を増しながら、毎日十分～十五分間（数回に分けてもよい）根気よく続けると効果があります。

体操を続けますと、筋力、持久力、柔軟性が増し、いらいらした気持や、からだの痛み、こり、疲れが少なくなり、体力年令を若がえらすことができます。

体操を、日常生活のなかでいれることは、現代生活のなかでこどもの成長にも美容と健康の維持増進のためにも欠かすことができません。

家族ぐるみで体操をしましょう。

寒さに負けず歩きましょう

歩くことは、一種の〝血液の体操〟です。

寒さに敗けず、からだにあった歩き方（距離、速さ、歩幅）で、腰の冷え、便秘、肥りすぎなど を防ぎ、とくに年配者の健康法として最良のものです。若い人も、胸をはり、両手を振り、ヒザをのばし、かかとをしっかりつけて歩 若さを保つために歩くことが必要きましょう。

国旗布告百年を迎える

本年は、わが国の国旗「日の丸」が「御国旗」として定められてから、百年目にあたります。

明治三年正月二十七日、太政官布告第五七号の商船規則で、はじめて現在の「日の丸」の制式が定められたのです。

それ以前にも古くから、各種の旗印に日章国旗を揚げるべきことが規定されました。

という慣行があったのですが、江戸時代末期に諸外国と通商するようになってから、わが国の船舶と外国船舶とを識別するための標識が必要となり、安政元年七月十一日に、「白地日之徽」（日の丸）を日本国総船印とすることに定められました。

前記の明治三年正月二十七日に太政官布告の商船規則によって、国旗の制式（白地に日の丸とその寸法）が明確に定められ、船舶に国旗を揚げることが規定されました。

出火お見舞のお礼

過日の出火に際しましては、消防団の方々をはじめ、みなさま方には、早速お馳せ付け消火にご尽力され、かつまた多くの方々から温情ともるお見舞の数々をいただきお礼の申し上げようもございません。

早速拝顔の上お礼申し述べるべき筈のところ取りあえず紙上をもってお礼かたがたごあいさつ申し上げます。

河内　山下
藤堂　宇八
米田　豊造
初子

新春をかざる 消防出初式

意志と勇姿を披ろう

人員服装姿勢の点検
<町長の検閲を受ける団員>

新春をかざる恒例の伊方町消防団出初式は一月八日伊方中学校庭で行なわれました。

当町の出初式は、毎年のごとく寒風吹くなかで行なわれていましたが、本年の場合は寒気もわらぐ、絶好の出初式挙行のコンディションに恵ぐまれました。

式に松田文治郎団長以下、町内二十一分団員三四八人と仁田之浜女子火防隊員十人が元気に出動し町内外の来賓多数が見守るなかで国旗掲揚、人員報告、人員服装姿勢の点検、機械器具の点検、ポンプ操法、分列行進がつぎつぎと手ぎわよく進行し、ことしも消防団の手で〝町民の生命、財産を火災から守る〟という意志と勇姿を披ろうしました。

つづいて表彰式にうつり消防団長として永年消防活動に多大の貢献のあった団員に県知事表彰、県消防協会長、八西消防連合会長、町長よりそれぞれ表彰状ならびに記念品がおくられました。

また、各分団へ消防施設拡充のため多額の寄付をされた篤志家や火災の際、功績の大きかった方々に町長、団長より感謝状がおくられました。

最後に一斉放水が行なわれ、白いアーチが冬空に伸び、水煙舞うなかに七色の色彩もあざやかに、春を呼ぶ出初式のフィナーレをかざるにふさわしい終末でした。

尚式場で表彰された方々は、つぎのとおりです。

◎県知事表彰
宇都宮豊一、池田稔
役場町民室長　脇田道（消防主任）

◎県消防協会長表彰
佐竹英信、清水宗一郎、宇都宮正道、高石定、水谷友二、阿部一幸、奥本満、上田熱茂

◎八西消防連合会長表彰
大黒実、山口駒蔵、山下和茂、飛田耕吾、泉弁一、浜下直春、加藤金也、松田克之、金山保久、井桜清司、久保豊

◎八西消防連合会長表彰
堀内貞、二宮伸二、居村光茂、上田義勝、本下力、上甲勝度、篠土勝利、渡辺喜芳、井上吉長、篠沢英春、松下政雄、井上憲夫、神影熙曜、前田若栄春、川縁好惠、山内一男、脇田一郎、渡辺久敦、山口保清、笹田長司、神山勝、松本安幸、古田平徳蔵、岩井富繁

◎町長・団長感謝状
谷口茂一、二宮信明、大塚孝行、山口秀明、檜田和義、清家一俊、山本清、宮本時良、清水健造、西内一明、菊池伝治、山上菊保、荷野芳寛、田口忠義、池田大吉、相能敬吾、井上栄市、畑山栄二宮功、松本清美、小島勲、井村俊雄、加藤敏一、林正男、福田平喜知、小池鶴安、阿部嘉明、井上忠孝、高橋岩太郎

◎町長特別表彰
仁田之浜の女子火防隊結成以来、永年火防隊の指導者的な役割を果たし、現在も幹部として活躍されているつぎの四人の方々が町長より感謝状が贈られました。
松下イトエ　宮井シノブ
米沢タミエ　松下タミ子

水煙舞うなかに、七色の色彩もあざやかな一斉放水

晴れて大人の仲間入り

決意も新たに成人式

一月十五日は成人の日。この日伊方町では一〇四人の新成人が誕生し、晴れて大人の仲間入りをしました。

本町では、これら新成人を祝福するため伊方小学校講堂で成人者五十三人が出席し、来賓多数の見守るなかで式典が挙行されました。

会場内には若い大人の熱気が満ち式典は伊方小学校鼓笛隊の祝賀演奏で幕をあけ、成人者の紹介、山本町長、栗田教育長のお祝のことばのあと記念品（印鑑箱）が成人者を代表して吉谷友一君（大浜）、松田トシミさん（西）に町長より手渡されました。

ついで町議会議長、県教育長、青年団協議会長、婦人会長、老人クラブ会長などのお喜びのあり、言葉がとれにとなえて西山利子さん（田之浦）が「社会に生きる一公民として責任ある行動をとり立派な社会人になります」と力強い誓いのことばがあり、引続いて「幸せの歌」合唱、記念撮影、血液検査を行ないました。

最後にダンスパーティに入り、宇和島市から招いた泉田智也氏の指導のもと、なごやかな楽しい成人式として閉幕しました。

昨年につづき 服装の簡素化なる

服装の簡素化については部落区長、部落公民館主事、青年団、婦人会が中心になって、とかく晴着で着飾った姿がふれ、晴着の見せ合い傾向になり、和服のショー的になるのを防ごうと晴着姿の廃止を申し合わせた結果、全成人者が昨年につづいて洋服姿で出席し関係者を喜ばせました。

「税務所だより」

「税の相談日」のお知らせ 毎月五のつく日

税金のことで何かわからないことがあったとき、これを解決するため一番手近かな方法は何といっても税務署の「税の相談日」を利用することです。

全国の税務署では毎月五日、十五日、二十五日つまり、五のつく日を税の相談日として、納税者のみなさんの税金についての相談に応じます。

この日は、税金についての法律の解釈や手続きといったことばかりでなく、納税者にとって有利な方法も取扱いもお教えしております。そして、相談はいっさい無料で、住所や名前をという必要もございません。

税金のことでおわかりにならないことや、相談のあります方は、五のつく日の「税の相談日」をご利用ください。

（八幡浜税務署）

昭45年お年玉はがき当せん番号

等級	賞品	組	番号
1等	オールチャンネルトランジスターテレビ	各組共通	789550 257078
		A組	713750
2等	音さ掛け時計	各組共通	下5ケタ 61487
		A組	下5ケタ 53461
3等	フランネルシーツ	各組共通	下4ケタ 1676
4等	封筒セット	〃	下3ケタ 348.038
5等	お年玉切手シート	〃	下2ケタ 16.35.35

賞品引換期間　1月20日～7月20日

当せんしたはがきは、くじ番号を切りとらないで、もよりの郵便局へお持ち下さい。

人

昭和44年12月末現在
世帯数　2,448戸
人口　9,663人（男 4,610人　女 5,053人）

婚姻

氏名	挙式	本籍地
	昭和44年12月1日～12月31日	

出生

	昭和44年12月1日～12月31日

死亡

	昭和44年12月1日～12月31日

更生金庫へ 多額の寄附金

伊方町更生金庫へ、つぎの方々から多額の寄付がありました。

二見の民生委員の職にある岩井只介氏より実父の香典返しとして一万円。中之浜の民生委員として活躍より中之浜の民生委員として活躍されていて、先般逝去された故光長氏の民生委員在職中の報酬四、四〇〇円を寄付。また、河内の米田辰蔵氏より二千円。それぞれ更生金庫へ寄付がありました。

紙上より厚くお礼申し上げます。

町建築組合からのお知らせ

大工一日二四〇〇円など

伊方町建築組合では一月二日総会（女子部）を開き、その席上、昭和四十五年度の大工・左官・板金工が一人役二、四〇〇円に決定しました。

＝お礼＝

北九州市若松区西畑町七丁目一七七にお住いの宮脇栄左エ門氏（川永田出身）より二千円。

大阪市北花区春日町一五一の四二八、飯尾住宅にお住いで東興自動車工業KKに勤務されている高野庫夫氏（九町出身）より二千円。

東大阪市高井田四一丁目九にお住いで古田建築設計事務所を経営されている古田庄太郎氏（大成出身）より一、八三〇円。

八幡浜市駅前にお住いで〝まるい〟食堂を経営されている竹村昭善氏（中之浜出身）より千円。

東京都江戸川区松島三丁目三六の四、山井様方にお住いの古田秀男氏（大成出身）より二八五円。

三重県上野市之内一一六、上野保健所に勤務されている宇都宮喜美栄さん（幾浦出身）より九三五円。

それぞれ広報編集の費用にとご寄付いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

編集後記

〝宇宙の年〟七〇年の夜明けから早くも一カ月が経過いたしました。

本町ではこの七〇年という記念すべき年に待望の新庁舎が完成します。

住民サービスをモットーに明るく能率的な親しみのもてる庁舎として今月十八日に落成祝賀式が行なわれ、二十日頃から役場業務の大車輪が廻り始めます。

また、役場前には浮橋が三月に完成します。

定期船の発着が便利になるばかりでなく、伊方湾のシンボル的存在で脚光を浴びることでしょう。

健康パトロールカー〝ひまわり号〟が県より贈呈されました。

こんどは町民の健康アドバイスカーとして保健、衛生の指導、思想善悪に機動力を生かしたより広範囲な活躍が期待されます。

暦の上では、立春がきそしまだまだ寒さはきびしく冷たい北西風が吹いており、感性の力が流行しています。

寒さにまけない体力づくりを各職場、各家庭で行ないましょう。

（Y・O）